

# アフリカ等のフードバリューチェーン課題解決型市場開拓事業

【平成31年度予算概算決定額 31（36）百万円】

## <対策のポイント>

アフリカ等において、**日本企業と現地起業家等が協働して行う事業の実証・評価等の活動を支援**することにより、アフリカ等における農業・食に係る課題を解決するとともに、日本企業による途上国への事業展開を促進します。

## <政策目標>

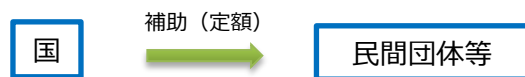
事業完了後3年以内に、支援した案件のうち3件以上が事業化に向けた取組を開始（アフリカ等での事業化の取組開始3件以上（平成35年度））

## <事業の内容>

### 日本企業と現地企業等の協働実証・評価事業 31（36）百万円

- アフリカ等の途上国では農業者が多く、農業が主たる産業となっていますが、農業機械を含めたインフラの不足、未熟な農業技術及び農産物加工技術、肥料等の投入不足等により、農業者を始めとした食産業関係者の所得は低迷しています。
- 他方、アフリカ等においては、社会課題の解決に貢献するため、現地で起業した日本人が各地で活動しています。
- 本事業では、このような現地起業家等と日本企業が協働し、現地の農業・食に係る課題解決に貢献する事業の実証・評価等の活動を支援し、貧困の削減等の途上国の開発を促進するとともに、日本企業による途上国への事業展開を促進します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 現地日本人起業家

マンゴー等を原料としたドライフルーツの製造・販売をしているが、品質や収量が安定しない。



### 糖度計等製造メーカー

開発途上国への市場参入に関心があるが、参入検討に必要な情報や人的ネットワークが不足。



ハンディ土壌診断計・糖度計

協働

- ・品質向上に伴う農業者の収入の増加
- ・品質管理の高度化に伴う先進国市場への輸出等の販路拡大



- ・実現性の高い事業計画
- ・現地ユーザーの意見を踏まえた製品等の開発
- ・現地パートナーとのネットワーク構築